

ともいき京都の皆様へ

今年一年間皆様にお会いし、皆様と色々な行事に参加させていただき、本当にありがとうございました。私は昨年のクリスマス会に参加したのが初めてでした。どんな会なのだろう、どのような人が参加しているのだろうと興味半分、心配半分で参加しましたが、会の雰囲気が特別に良くて（楽しく歌い、立派な生演奏に触れ、楽しく語り合ったことですが）よし、これから毎月参加しようと思いを決意しました。私にとっては、ともいき京都を今後の心の支えとして、やって行こうと思いました。即ち、一度の参加でともいき京都が大好きになったのです。

今年の思い出を一つ、二つ取り上げてみますと

先ず、第一はメンバーのYさんと知り合ったことです。私より年齢も病氣も先に経験されており、何かと、色々私の知らないことをいつも親切に教えていただいたことです。

ともいき京都の行事についての思い出で心に残ったものですが、

一つ目は四月頃の行事でしたか、カバン作り・ポーチ作りのことです。「何が出来るのか、分らずにやりましたが、スタッフさんの協力で完成したゴジラの入ったポーチが出来ました。今もときどき愛用しています。二つ目は、京都御苑の哲学散歩でした。初めてタイトルを聞いた時、一体何をやるのだろうか全く分かりませんでした・・・。何しろ基本は何もしゃべらず散歩、誰にも相談せず一人で考える、楽しい企画でした。そして七月のともいき京都の一周年の記念行事では、石田ひかりさんと田村先生のトーク有り、がん患者でありながら身体でイメージを形にするワークショップ有り、楽しかったです。Mさんは、特にがん患者でありながら、それをおくびにも出さず、元気に毎日を過ごされている姿に感動したものです。

以上のように、私にとって「ともいき京都」の月二回の行事は毎月の楽しみで、実施の日時を手帳に書き込んでいました。

全部出席するとの覚悟は、残念ですが達成出来ないことになりました。

最後に私のことですが、実は九月下旬から病状が悪化したのです。

「胸膜播腫」で時々、入院もしながら治療にあたっています。従って、今日は、私のメッセージをお届けすることにしました。沢山の人とお知り合いになれましたので、もう少し元気になれば、また、参加したいと思っています。

今日はともいき京都のクリスマスパーティーに行き、楽しい音楽を聞き、クッキーとケーキを作りたかった。また、お会いできる日を楽しみにしています。

私はともいき京都が大好きなのです。

以上

平成二十八年十二月二十三日